

# I 財 務 諸 表

# 貸 借 対 照 表

令和3年3月31日現在

資 産 の 部		負 債 及 び 純 資 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	円	(負債の部)	円
流動資産	3,998,790,430	流動負債	2,802,258,110
現金及び預金	3,579,530,170	基金運用利益金負債(注1)	257,383
現金	3,471,134	預り寄附金(注1)	514,871,706
預金	3,576,059,036	預り施設費(注1)	76,131,227
業務未収金		未払金	1,815,354,939
業務未収金	8,836,199	リース債務	45,412,746
貸倒引当金	▲ 380,530		
たな卸資産	1,115,616	未払消費税等	12,086,600
未収収益	10,842,307	前受金	10,414,893
賞与引当金見返(注1)	256,860,619	預り金	20,747,997
環境対策引当金見返(注1)	50,120,000	預り源泉所得税	1,734,323
その他流動資産	91,866,049	預り住民税	13,230,300
未収金	83,783,657	その他預り金	5,483,374
貸倒引当金	▲ 25,034,801	預り科学研究費補助金等	300,000
立替金	1,270,793	引当金	306,980,619
未収消費税	31,846,400	賞与引当金	256,860,619
固定資産	83,743,375,819	環境対策引当金	50,120,000
有形固定資産	78,031,958,195	固定負債	3,005,251,897
建物	73,390,265,782	資産見返負債(注1)	2,176,657,387
減価償却累計額	▲ 36,667,012,358	資産見返運営費交付金	1,833,582,598
構築物	19,123,873,876	資産見返物品受贈額	26,421,560
減価償却累計額	▲ 15,511,619,196	資産見返寄附金	303,504,035
機械及び装置	724,645,242	建設仮勘定見返運営費交付金等	1,709,194
減価償却累計額	▲ 484,448,796	建設仮勘定見返寄附金	11,440,000
船舶	130,146,138	長期リース債務	90,967,941
減価償却累計額	▲ 103,384,321	引当金	737,626,569
車両運搬具	341,821,204	退職給付引当金	737,626,569
減価償却累計額	▲ 253,207,530		
工具器具備品	1,330,546,181	( 負 債 合 計 )	5,807,510,007
減価償却累計額	▲ 917,017,221	(純資産の部)	
土地	36,914,200,000	資本金	
建設仮勘定	13,149,194	政府出資金	113,514,962,061
無形固定資産	29,551,267	資本剰余金	▲ 32,008,648,869
ソフトウェア	26,668,923	資本剰余金	15,027,077,676
電話加入権	1,105,744	その他行政コスト累計額(注2)	▲ 52,785,564,882
その他無形固定資産	1,776,600	減価償却相当累計額	▲ 52,157,900,453
投資その他の資産	5,681,866,357	減損損失相当累計額	▲ 4,060,840
投資有価証券	1,669,117,263	除売却差額相当累計額	▲ 623,603,589
長期性預金	3,273,565,892	民間出えん金	5,749,838,337
預託金	1,556,633	利益剰余金	428,343,050
退職給付引当金見返(注1)	737,626,569	前中期目標期間繰越積立金	586,607
		当期未処分利益	427,756,443
		(うち、当期総利益 449,274,389円)	
資 産 合 計	87,742,166,249	( 純 資 産 合 計 )	81,934,656,242
		負 債 ・ 純 資 産 合 計	87,742,166,249

注記

1. これらは、独立行政法人固有の会計処理に伴う勘定科目です。
2. 出資を財源に取得した資産に係る、その他行政コスト累計額 ▲46,967,577,673円

## 行政コスト計算書

(自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)

(単位:円)

I	損益計算書上の費用		
	業務費	6,467,675,860	
	一般管理費	2,862,951,312	
	財務費用	1,867,546	
	臨時損失(注3)	11,163,642	
	損益計算書上の費用合計		9,343,658,360
II	その他行政コスト		
	減価償却相当額	2,087,084,444	
	除売却差額相当額	4,173,644	
	その他行政コスト合計		2,091,258,088
III	行政コスト		11,434,916,448

### 注記

1. 独立行政法人の業務運営に関して国民の負担に帰せられるコスト

行政コスト	11,434,916,448
自己収入等	▲ 517,346,605
機会費用	275,949,408

独立行政法人の業務運営に関して  
国民の負担に帰せられるコスト

11,193,519,251

2. 機会費用の計上方法

(1) 国又は地方公共団体の財産の無償又は減額された使用料による貸借取引から生ずる機会費用の計上方法

    近隣の地代や賃貸料等を参考に計算しております。

(2) 政府出資又は地方公共団体出資等から生ずる機会費用の計算に使用した利率

    10年利付国債の令和3年3月末利回りを参考に0.120%で計算しております。

(3) 国又は地方公共団体との人事交流による出向職員から生ずる機会費用の計上方法

    当該職員が国又は地方公共団体に復帰後退職する際に支払われる退職金のうち、独立行政法人での勤務期間に対応する部分について、給与規則に定める退職給付支給基準等を参考に計算しております。

3. 臨時損失11,163,642円は、令和元事業年度に計上した環境対策引当金見返の戻入であります。

# 損 益 計 算 書

自 令和2年 4月 1日

至 令和3年 3月31日

費 用 の 部		収 益 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
経常費用		経常収益	
業務費	6,467,675,860	運営費交付金収益	7,510,993,230
給与、賞与及び諸手当	1,584,960,014	事業収益	278,087,201
法定福利費・福利厚生費	300,336,804	事業収入	278,087,201
退職給付費用	16,731,828	基金運用益	22,598,628
その他人件費	250,804,386	受託収入	759,237
賞与引当金繰入	137,910,012	政府受託収入	622,680
外部委託費	1,441,100,309	その他受託収入	136,557
賃借料	119,580,258	補助金等収益	1,370,900
減価償却費	128,643,451	施設費収益	85,516,669
保守・修繕費	574,408,602	寄附金収益	80,547,921
水道光熱費	470,486,901	賞与引当金見返に係る収益	256,860,619
旅費交通費	49,323,698	退職給付引当金見返に係る収益	146,031,957
消耗品費	237,395,651	資産見返負債戻入	184,422,125
備品費	58,616,641	資産見返運営費交付金戻入	144,213,859
諸謝金	42,271,472	資産見返寄附金戻入	40,208,266
印刷費	40,993,990	財務収益	
通信費	38,913,996	受取利息	112
貸倒引当金繰入	709,569	雑益	95,145,240
子どもゆめ基金助成費	903,384,554		
その他業務経費	71,103,724	( 経 常 収 益 合 計 )	8,662,333,839
一般管理費	2,862,951,312		
役員報酬	57,001,386		
給与、賞与及び諸手当	1,288,419,155		
法定福利費・福利厚生費	253,523,913		
退職給付費用	129,300,129		
その他人件費	136,077,328		
賞与引当金繰入	118,950,607		
外部委託費	156,161,432		
賃借料	194,524,441		
減価償却費	144,019,081		
保守・修繕費	121,987,918		
水道光熱費	46,997,257		
旅費交通費	16,450,998		
消耗品費	72,899,677		
備品費	18,286,640		
諸謝金	3,398,800		
印刷費	2,317,240		
通信費	40,919,895		
その他管理経費	61,715,415		
財務費用			
支払利息	1,867,546		
( 経 常 費 用 合 計 )	9,332,494,718		
経常利益	▲ 670,160,879		
臨時損失	11,163,642	臨時利益	1,130,535,975
過年度修正損(注1)	11,163,642	過年度修正益(注2)	11,163,642
		運営費交付金精算収益化額	1,119,372,333
当期純利益	449,211,454		
前中期目標期間繰越積立金取崩額	62,935		
当期総利益(注3)	449,274,389		
合 計	8,662,333,839	合 計	8,662,333,839

注記

1. 臨時損失に計上した過年度修正損11,163,642円は、令和元事業年度に計上した環境対策引当金見返の戻入であります。
2. 臨時利益に計上した過年度修正益11,163,642円は、令和元事業年度に繰入を行った環境対策引当金の戻入益であります。
3. ファイナンス・リース取引が損益に与える影響額は、400,231円であり、当該影響額を除いた当期総利益は、448,874,158円であります。

純 資 産 変 動 計 算 書  
(令和2年4月1日 ~ 令和3年3月31日)

	I 資本金		II 資本剰余金				III 利益剰余金(又は繰越欠損金)				純資産 合 計	
	政 府 出資金	資本剰余金	その他行政コスト割計額		資本剰余金 合 計	前中期目標 期間繰越 積立金	積立金	繰越欠損金		利益剰余金 (又は繰越欠損金) 合 計		
			減価償却相当 累計額 (-)	減損損失相当 累計額 (-)				除売却差額 相当累計額 (-)	うち 当期繰越 当損益 当損益損失			
当期首残高	113,514,962,061	14,330,931,802	▲ 50,088,981,376	▲ 4,060,840	▲ 601,264,578	4,948,763,056	649,542	1,136,756	▲ 22,654,702	-	▲ 20,868,404	82,077,481,721
当期変動額												
I 資本剰余金の当期変動額												
固定資産の取得		696,159,534										696,159,534
固定資産の除去却		▲ 13,660	18,165,387		▲ 22,339,011							▲ 4,187,304
減価償却			▲ 2,087,084,444									▲ 2,087,084,444
出えん金の受入						803,075,281						803,075,281
II 利益剰余金(又は繰越欠損金)の当期変動額												
(1) 利益の処分又は損失の処理												
利益処分(又は損失処理)による取り崩し								▲ 1,136,756				
(2) その他												
当期純利益(又は当期純損失)								449,211,454		449,211,454		449,211,454
前中期目標期間繰越積立金取崩額							▲ 62,935		62,935			
当期変動額合計		696,145,874	▲ 2,068,919,077	-	▲ 22,339,011	803,075,281	▲ 62,935	▲ 1,136,756	450,411,145	449,274,389	449,211,454	▲ 142,825,479
当期首残高	113,514,962,061	15,027,077,676	▲ 52,157,900,453	▲ 4,060,840	▲ 623,603,589	5,749,838,337	586,607	-	427,756,443	449,274,389	428,343,050	81,934,656,242

キャッシュ・フロー計算書  
(自令和2年4月1日 至令和3年3月31日)

(単位:円)

I 業務活動によるキャッシュ・フロー	
原材料、商品又はサービスの購入による支出	▲ 4,425,753,605
人件費支出	▲ 4,367,852,948
運営費交付金収入	9,742,179,000
事業収入	278,955,519
受託収入	43,581,142
補助金等収入	1,370,900
寄附金収入	274,370,453
消費税等の支払額	▲ 44,120,400
その他の収入	96,715,355
小計	1,599,445,416
利息の受取額	24,097,633
利息の支払額	▲ 1,940,302
業務活動によるキャッシュ・フロー	1,621,602,747
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の取得による支出	▲ 1,623,890,380
長期性預金の償還による収入	813,641,437
有形固定資産・無形固定資産の取得による支出	▲ 2,267,291,499
施設費による収入	857,760,000
施設費の精算による返還金の支出	▲ 19,645,760
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 2,239,426,202
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
民間出えん金の受入による収入	803,075,281
リース債務の返済による支出	▲ 89,469,398
財務活動によるキャッシュ・フロー	713,605,883
IV 資金増加額 ( I + II + III )	95,782,428
V 資金期首残高	3,483,747,742
VI 資金期末残高 ( IV + V )	3,579,530,170

注記

1. 資金の期末残高の貸借対照表科目別の内訳  
現金及び預金勘定 3,579,530,170円
2. 重要な非資金取引  
なし

## 利益の処分に関する書類

(単位:円)

I	当期末処分利益		<u>427,756,443</u>
	当期総利益	449,274,389	
	前期繰越欠損金	▲ 21,517,946	
II	前中期目標期間繰越積立金		<u>586,607</u>
	前中期目標期間繰越積立金	586,607	
III	利益処分額		<u>428,343,050</u>
	積立金	428,343,050	



附属明細書

1. 固定資産の取得、処分、減価償却費（「第87特定の償却資産の減価に係る会計処理」による減価償却相当額も含む。）及び減損損失累計額の明細

(単位:円)

資産の種類	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	減価償却累計額		減損損失累計額	差引当期末残高	摘要
					当期償却額	当期減損額			
有形固定資産 (減価償却費)	建物	937,511,026	912,241,493	-	1,849,752,519	488,220,660	52,179,524	-	1,361,531,859
	構築物	320,342,859	6,125,082	-	326,467,941	110,983,464	17,360,366	-	215,484,477
	機械及び装置	456,215,198	3,657,015	1,042,650	458,829,563	245,563,658	41,031,950	-	213,265,905
	船舶	113,794,623	-	-	113,794,623	88,667,969	16,591,079	-	25,126,654
	車両運搬具	282,393,641	4,002,350	918,390	285,477,601	202,502,925	23,094,638	-	82,974,676
	工具器具備品	1,101,072,361	133,255,470	219,356,770	1,014,971,061	642,850,293	112,614,320	-	372,120,768
	計	3,211,329,708	1,059,281,410	221,317,810	4,049,293,308	1,778,788,969	262,871,877	-	2,270,504,339
	建物	70,858,252,873	686,131,642	3,871,252	71,540,513,263	36,178,791,698	1,902,872,389	-	35,361,721,565
	構築物	18,788,611,086	9,980,462	1,185,613	18,797,405,935	15,400,635,732	183,427,469	-	3,396,770,203
	機械及び装置	266,819,708	-	1,004,029	265,815,679	238,885,138	317,461	-	26,930,541
船舶	16,351,515	-	-	16,351,515	14,716,352	-	-	1,635,163	
車両運搬具	71,085,411	-	14,741,808	56,343,603	50,704,605	5,142	-	5,638,998	
工具器具備品	307,206,429	-	1,536,309	305,670,120	274,166,928	461,983	-	31,503,192	
計	90,308,327,022	696,112,104	22,339,011	90,982,100,115	52,157,900,453	2,087,084,444	-	38,824,199,662	
非償却資産	9,905,000	-	-	9,905,000	-	-	-	9,905,000	
土地	36,914,200,000	-	-	36,914,200,000	-	-	-	36,914,200,000	
建設仮勘定	1,127,294	12,021,900	-	13,149,194	-	-	-	13,149,194	
計	36,925,232,294	12,021,900	-	36,937,254,194	-	-	-	36,937,254,194	
有形固定資産合計	71,795,763,899	1,598,373,135	3,871,252	73,390,265,782	36,667,012,358	1,955,051,913	-	36,723,253,424	
建物	19,108,953,945	16,105,544	1,185,613	19,123,873,876	15,511,619,196	200,787,835	-	3,612,254,680	
構築物	723,034,906	3,657,015	2,046,679	724,645,242	484,448,796	41,349,411	-	240,196,446	
機械及び装置	130,146,138	-	-	130,146,138	103,384,321	16,591,079	-	26,761,817	
船舶	353,479,052	4,002,350	15,660,198	341,821,204	253,207,530	23,099,780	-	88,613,674	
車両運搬具	1,418,183,790	133,255,470	220,893,079	1,330,546,181	917,017,221	113,076,303	-	413,528,960	
工具器具備品	36,914,200,000	-	-	36,914,200,000	-	-	-	36,914,200,000	
土地	1,127,294	12,021,900	-	13,149,194	-	-	-	13,149,194	
建設仮勘定	130,444,889,024	1,767,415,414	243,656,821	131,968,647,617	53,936,689,422	2,349,956,321	-	78,031,958,195	
計	401,979,725	2,266,000	-	404,245,725	377,576,802	9,639,455	-	26,668,923	
ソフトウエア	5,166,584	-	-	5,166,584	-	-	-	1,105,744	
電話加入権	2,268,000	-	-	2,268,000	491,400	-	-	1,776,600	
その他無形固定資産	409,414,309	2,266,000	-	411,680,309	378,068,202	9,790,655	-	29,551,267	
計	44,990,475	1,624,126,788	-	1,669,117,263	-	-	-	1,669,117,263	
投資有価証券	4,087,207,329	-	813,641,437	3,273,565,892	-	-	-	3,273,565,892	
長期性預金	1,522,863	47,430	13,660	1,556,633	-	-	-	1,556,633	
預託金	785,436,415	146,031,957	193,841,803	737,626,569	-	-	-	737,626,569	
退職給付引当金見返	50,120,000	-	50,120,000	-	-	-	-	-	
環境対策引当金見返	4,969,277,082	1,770,206,175	1,057,616,900	5,681,866,357	-	-	-	5,681,866,357	
計	4,969,277,082	1,770,206,175	1,057,616,900	5,681,866,357	-	-	-	5,681,866,357	

## 2. たな卸資産の明細

(単位:円)

種類	期首残高	当期増加額		当期減少額		期末残高	摘要
		当期購入・ 製造・振替	その他	払出・振替	その他		
切手・はがき	953,305	1,714,626	—	1,914,639	—	753,292	
道路通行券等	397,327	188,000	—	223,003	—	362,324	
計	1,350,632	1,902,626	—	2,137,642	—	1,115,616	

## 3. 有価証券の明細

## (1) 投資その他の資産として計上された有価証券

(単位:円)

満期保有 目的債券	種類及び銘柄	取得価額	券面総額	貸借対照表 計上額	当期費用に含ま れた評価差額	摘要
	地方債 京都府公募公債第5回	19,982,000	20,000,000	19,997,450	—	
	地方債 大阪府公募公債第380回	11,994,000	12,000,000	11,998,350	—	
	地方債 大阪府公募公債第389回	12,993,500	13,000,000	12,997,725	—	
	国債 利付国債第157回	919,899,180	927,000,000	920,089,041	—	
	国債 利付国債第157回	404,051,200	406,000,000	404,093,110	—	
	地方債 京都府公募公債第5回	299,940,000	300,000,000	299,941,587	—	
	計	1,668,859,880	1,678,000,000	1,669,117,263	—	

## 4. 引当金の明細

(単位:円)

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	摘要
			目的使用	その他		
賞与引当金	258,741,574	256,860,619	258,741,574	—	256,860,619	
環境対策引当金	204,438,000	—	143,154,358	11,163,642	50,120,000	(注)
計	463,179,574	256,860,619	401,895,932	11,163,642	306,980,619	

(注) 当期減少額における「その他」は、令和元事業年度に計上した環境対策引当金の戻入であります。

## 5. 貸付金等に対する貸倒引当金の明細

(単位:円)

区分	貸付金等の残高			貸倒引当金の残高			摘要
	期首残高	当期増減額	期末残高	期首残高	当期増減額	期末残高	
業務未収金							
一般債権	2,475,839	5,961,580	8,437,419	—	—	—	
貸倒懸念債権	389,784	8,996	398,780	365,032	15,498	380,530	(注)
計	2,865,623	5,970,576	8,836,199	365,032	15,498	380,530	
未収金							
一般債権	69,633,941	▲11,480,403	58,153,538	—	—	—	
貸倒懸念債権	25,669,482	▲39,363	25,630,119	25,584,482	▲549,681	25,034,801	(注)
計	95,303,423	▲11,519,766	83,783,657	25,584,482	▲549,681	25,034,801	
立替金							
一般債権	6,286,244	▲5,015,451	1,270,793	—	—	—	
貸倒懸念債権	—	—	—	—	—	—	(注)
計	6,286,244	▲5,015,451	1,270,793	—	—	—	

(注) 貸倒懸念債権については、債権額から担保の処分見込額及び保証による回収見込額を減額し、その残額について債務者の財政状態及び経営成績を考慮して貸倒見積高を算定しております。

## 6. 退職給付引当金の明細

(単位:円)

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
退職給付債務合計額	785,436,415	146,031,957	193,841,803	737,626,569	
退職一時金に係る債務	785,436,415	146,031,957	193,841,803	737,626,569	
退職給付引当金	785,436,415	146,031,957	193,841,803	737,626,569	

## 7. 資本剰余金の明細

(単位:円)

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	摘要
施設費	14,313,231,549	696,112,104	—	15,009,343,653	取得による増
運営費交付金	840,840	29,140	13,660	856,320	取得による増 除却による減
寄附金等	16,859,413	18,290	—	16,877,703	取得による増
計	14,330,931,802	696,159,534	13,660	15,027,077,676	

## 8. 運営費交付金債務及び当期振替額等の明細

## (1) 運営費交付金債務の増減の明細

(単位:円)

交付 年度	期首残高	当期交付額	当期振替額				引当金 見返との 相殺額	期末残高
			運営費 交付金 収 益	資産見返 運営費 交付金	資本 剰余 金	小 計		
1 年度	539,038,734	—	431,565,858	—	—	431,565,858	107,472,876	—
2 年度	—	9,742,179,000	8,198,799,705	1,055,085,296	29,140	9,253,914,141	488,264,859	—
計	539,038,734	9,742,179,000	8,630,365,563	1,055,085,296	29,140	9,685,479,999	595,737,735	—

## (2) 運営費交付金債務の当期振替額及び主な使途の明細

## ① 運営費交付金収益への振替額及び主な使途の明細

(単位:円)

区 分	運営費交付金 収益	運 営 費 交 付 金 の 主 な 使 途	
		費 用	主 な 使 途
業務達成基準による振替額	4,515,902,432	4,515,902,432	
自立する青少年の育成の 推進	1,011,000,573	1,011,000,573	人 件 費:622,520,872 外 部 委 託 費:254,394,971 そ の 他:134,084,730
青少年教育指導者等の 養成及び資質の向上	412,942,585	412,942,585	人 件 費:254,269,089 外 部 委 託 費:102,783,741 そ の 他:55,889,755
青少年教育指導者等研修 及び青少年研修に対する 指導及び助言	1,221,742,044	1,221,742,044	人 件 費:752,285,786 外 部 委 託 費:305,636,416 そ の 他:163,819,842
青少年教育に関する施設 及び団体相互間の連絡 及び協力の促進	28,478,523	28,478,523	人 件 費:17,535,799 外 部 委 託 費:7,124,314 そ の 他:3,818,410
青少年教育に関する 専門的な調査研究	173,720,590	173,720,590	人 件 費:106,968,375 外 部 委 託 費:43,458,714 そ の 他:23,293,501
青少年教育団体が行う 活動に対する助成	1,668,018,117	1,668,018,117	人 件 費:327,469,337 子どもゆめ基金助成費:903,384,554 外 部 委 託 費:290,267,786 そ の 他:146,896,440
期間進行基準による振替額	2,995,090,798	2,995,090,798	人 件 費:2,046,934,347 外 部 委 託 費:156,161,432 賃 借 料:194,524,441 保 守 ・ 修 繕 費:121,987,918 そ の 他:475,482,660
費用進行基準による振替額	-	-	○費用進行基準を採用した業務はない。
会計基準第 81 条第 4 項による 振替額	1,119,372,333	1,119,372,333	
合 計	8,630,365,563	8,630,365,563	

②資産見返運営費交付金及び資本剰余金への振替額並びに主な使途の明細

(単位:円)

セグメント	資産見返運営費交付金への振替		資本剰余金への振替	
	振替額	主な使途	振替額	主な使途
自立する青少年の育成の推進	364,431,895	建物附属設備:176,198,570 建 物:144,610,877 そ の 他:43,622,448	-	
青少年教育指導者等の養成及び資質の向上	148,852,464	建物附属設備:71,968,430 建 物:59,066,414 そ の 他:17,817,620	-	
青少年教育指導者等研修及び青少年研修に対する指導及び助言	440,397,980	建物附属設備:212,927,286 建 物:174,755,116 そ の 他: 52,715,578	-	
青少年教育に関する施設及び団体相互間の連絡及び協力の促進	10,265,687	建物附属設備:4,963,340 建 物:4,073,546 そ の 他:1,228,801	-	
青少年教育に関する専門的な調査研究	62,620,693	建物附属設備:30,276,375 建 物:24,848,629 そ の 他:7,495,689	-	
青少年教育団体が行う活動に対する助成	16,958,918	工具器具備品:14,692,918 ソフトウェア:2,266,000	-	
共 通	11,557,659	建物附属設備:5,973,132 工具器具備品:4,287,627 そ の 他:1,296,900	29,140	
合 計	1,055,085,296		29,140	

(3)引当金見返との相殺額の明細

(単位:円)

セグメント	引当金見返との相殺	
	相殺額	主な相殺額の内訳
自立する青少年の育成の推進	45,765,098	賞与引当金見返:45,765,098
青少年教育指導者等の養成及び資質の向上	18,692,787	賞与引当金見返:18,692,787
青少年教育指導者等研修及び青少年研修に対する指導及び助言	55,304,865	賞与引当金見返:55,304,865
青少年教育に関する施設及び団体相互間の連絡及び協力の促進	1,289,158	賞与引当金見返:1,289,158
青少年教育に関する専門的な調査研究	7,863,862	賞与引当金見返:7,863,862
青少年教育団体が行う活動に対する助成	13,559,401	賞与引当金見返:13,559,401
共 通	453,262,564	賞与引当金見返:116,266,403 退職給付引当金見返:193,841,803 環境対策引当金見返:143,154,358
合 計	595,737,735	

9. 運営費交付金以外の国等からの財源措置明細

(1) 施設費の明細

(単位:円)

区 分	当期交付額	左の会計処理内訳			摘 要
		建設仮勘定 見返施設費	資本剰余金	その他	
施設整備費	781,628,773	-	696,112,104	85,516,669	
計	781,628,773	-	696,112,104	85,516,669	

(2) 補助金等の明細

(単位:円)

区 分	当期交付額	左の会計処理内訳					摘要
		建設仮勘定 見返補助金等	資産見返 補助金等	資本 剰余金	長期預り 補助金等	収益計上	
教員講習開設事業費等補助 金(文部科学省)	870,900	-	-	-	-	870,900	
ASO 共生環境基金(阿蘇市)	500,000	-	-	-	-	500,000	
計	1,370,900	-	-	-	-	1,370,900	

10. 役員及び職員の給与の明細

(単位:千円、人)

区 分	報 酬 又 は 給 与		退 職 手 当	
	支 給 額	支給人員	支 給 額	支給人員
役 員	(2,160)	(3)	(-)	(-)
	59,584	4	4,495	1
職 員	(375,929)	(262)	(-)	(-)
	3,118,131	491	189,347	20
合 計	(378,089)	(265)	(-)	(-)
	3,177,715	495	193,842	21

(注) 1. 支給の基準は、役員給与規程、職員給与規程、非常勤職員給与規程等によっております。

2. 職員の支給人員数は、年間平均支給人員数を記載しております。

3. ( )内は非常勤役職員の数字であり外数であります。

11. 科学研究費補助金の明細

(単位:円、件)

種目	当期受入	件数	摘要
基盤研究(C)	(300,000) 90,000	1	日本学術振興会 科学研究費
合計	(300,000) 90,000	1	

(注) 当期受入額は間接経費相当額を記載し、直接経費相当額は外数として( )内に記載しております。



## 12. セグメント情報

(単位:円)

	青少年教育事業			
	自立する青少年の育成の推進	青少年教育指導者等の養成及び資質の向上	青少年教育指導者等研修及び青少年研修に対する指導及び助言	青少年教育に関する施設及び団体相互間の連絡及び協力の促進
I 行政コスト				
損益計算書上の費用合計	1,625,998,651	664,169,255	1,953,008,512	45,524,674
その他行政コスト				
減価償却相当額	740,914,978	302,627,244	895,359,227	20,870,844
除売却差額相当額	1,481,644	605,178	1,790,493	41,737
その他行政コスト合計	742,396,622	303,232,422	897,149,720	20,912,581
行政コスト	2,368,395,273	967,401,677	2,850,158,232	66,437,255
II 独立行政法人の業務運営に関して国民の負担に帰せられるコスト	2,200,436,491	891,246,207	2,659,582,374	61,994,928
III 事業費用、事業収益及び事業損益				
事業費用				
人件費	622,520,872	254,269,089	752,285,786	17,535,799
業務費				
外部委託費	409,145,049	165,315,477	488,573,283	11,388,655
保守・修繕費	203,503,779	83,138,916	245,924,285	5,732,501
水道光熱費	166,527,821	68,018,406	201,240,663	4,690,924
子どもゆめ基金助成費	-	-	-	-
その他業務経費	224,301,130	93,427,367	264,984,495	6,176,795
一般管理費	-	-	-	-
財務費用	-	-	-	-
事業費用 計	1,625,998,651	664,169,255	1,953,008,512	45,524,674
事業収益				
運営費交付金収益	1,011,000,573	412,942,585	1,221,742,044	28,478,523
事業収入	86,619,040	46,762,172	103,989,994	2,424,009
受取利息	-	-	-	-
基金運用益	-	-	-	-
寄附金収益	33,282,044	10,625,662	31,437,305	732,804
受託収入	631,557	127,680	-	-
補助金等収益	1,370,900	-	-	-
施設費収益	30,358,417	12,399,917	36,686,651	855,167
引当金見返に係る収益	43,540,847	17,784,290	52,616,967	1,226,503
資産見返負債戻入	44,825,782	18,309,122	54,169,748	1,262,698
雑益	33,278,103	12,861,180	38,051,352	886,978
事業収益 計	1,284,907,263	531,812,608	1,538,694,061	35,866,682
事業損益	▲ 341,091,388	▲ 132,356,647	▲ 414,314,451	▲ 9,657,992
IV 臨時損益等				
臨時損失	-	-	-	-
臨時利益	17,097,935	6,983,663	20,662,011	481,632
当期純損益	▲ 323,993,453	▲ 125,372,984	▲ 393,652,440	▲ 9,176,360
前中期目標期間繰越積立金取崩額	-	-	-	-
当期総損益	▲ 323,993,453	▲ 125,372,984	▲ 393,652,440	▲ 9,176,360
V 総資産				
有形固定資産	27,530,274,501	11,244,760,007	33,268,979,609	775,500,690
建物	12,989,087,527	5,305,401,947	15,696,671,969	365,889,789
構築物	1,277,004,216	521,593,271	1,543,196,644	35,971,950
土地	13,104,541,000	5,352,559,000	15,836,191,800	369,142,000
投資その他の資産	435,064	177,702	525,754	12,255
その他	14,672,266	5,992,898	17,730,711	413,304
総資産 計	27,545,381,831	11,250,930,607	33,287,236,074	775,926,249

(単位:円)

	青少年教育に関する専門的な調査研究	青少年団体が行う活動に対する助成(基金事業)	法人共通	合計
<b>I 行政コスト</b>				
損益計算書上の費用合計	277,700,511	1,707,894,471	3,069,362,286	9,343,658,360
その他行政コスト				
減価償却相当額	127,312,151	-	-	2,087,084,444
除売却差額相当額	254,592	-	-	4,173,644
その他行政コスト合計	127,566,743	-	-	2,091,258,088
行政コスト	405,267,254	1,707,894,471	3,069,362,286	11,434,916,448
<b>II 独立行政法人の業務運営に関して国民の負担に帰せられるコスト</b>	378,169,056	1,683,807,456	3,318,282,739	11,193,519,251
<b>III 事業費用、事業収益及び事業損益</b>				
事業費用				
人件費	106,968,375	327,469,337	2,192,966,304	4,274,015,562
業務費				
外部委託費	69,470,793	297,207,052	-	1,441,100,309
保守・修繕費	34,968,255	1,140,866	-	574,408,602
水道光熱費	28,614,640	1,394,447	-	470,486,901
子どもゆめ基金助成費	-	903,384,554	-	903,384,554
その他業務経費	37,678,448	160,984,215	-	787,552,450
一般管理費	-	16,314,000	863,364,794	879,678,794
財務費用	-	-	1,867,546	1,867,546
事業費用 計	277,700,511	1,707,894,471	3,058,198,644	9,332,494,718
事業収益				
運営費交付金収益	173,720,590	1,668,018,117	2,995,090,798	7,510,993,230
事業収入	14,786,456	1,488,387	22,017,143	278,087,201
受取利息	-	-	112	112
基金運用益	-	22,598,628	-	22,598,628
寄附金収益	4,470,106	-	-	80,547,921
受託収入	-	-	-	759,237
補助金等収益	-	-	-	1,370,900
施設費収益	5,216,517	-	-	85,516,669
引当金見返に係る収益	7,481,667	15,259,738	264,982,564	402,892,576
資産見返負債戻入	7,702,458	2,215,025	55,937,292	184,422,125
雑益	5,410,565	-	4,657,062	95,145,240
事業収益 計	218,788,359	1,709,579,895	3,342,684,971	8,662,333,839
事業損益	▲ 58,912,152	1,685,424	284,486,327	▲ 670,160,879
<b>IV 臨時損益等</b>				
臨時損失	-	-	11,163,642	11,163,642
臨時利益	2,937,955	1,033,029,422	49,343,357	1,130,535,975
当期純損益	▲ 55,974,197	1,034,714,846	322,666,042	449,211,454
前中期目標期間繰越積立金取崩額	-	-	62,935	62,935
当期総損益	▲ 55,974,197	1,034,714,846	322,728,977	449,274,389
<b>V 総資産</b>				
有形固定資産	4,730,554,211	14,524,689	467,364,488	78,031,958,195
建物	2,231,927,716	250,005	134,024,471	36,723,253,424
構築物	219,428,894	-	15,059,705	3,612,254,680
土地	2,251,766,200	-	-	36,914,200,000
投資その他の資産	74,758	4,942,683,155	737,957,669	5,681,866,357
その他	2,521,150	895,481,930	3,091,529,438	4,028,341,697
総資産 計	4,733,150,119	5,852,689,774	4,296,851,595	87,742,166,249

(注)1. 区分の方法

区分は、「独立行政法人国立青少年教育振興機構法」(平成11年12月22日法律第167号)第十一条(業務の範囲)及び「独立行政法人国立青少年教育振興機構に関する省令」(平成13年3月30日文部科学省令第30号)第十五条(経理方法)に基づき区分し、その他共通的な事項を法人共通として区分しております。

2. 各事業の内訳

事業区分		事業内容
青少年教育事業	自立する青少年の育成の推進	青少年の体験活動等の重要性に関する普及・啓発や青少年教育に関する地域力向上のためのモデル的事業の開発及びグローバル人材の育成を見据えた国際交流の推進
	青少年教育指導者等の養成及び資質の向上	青少年教育指導者等の養成及び資質の向上等を目的として当機構が実施する青少年教育指導者等研修及びボランティアの養成・研修の推進
	青少年教育指導者等研修及び青少年研修に対する指導及び助言	青少年教育団体が実施する青少年指導者等研修及び青少年研修に対し、学習の場や機会、情報を提供するとともに、指導・助言等の支援を行う事業
	青少年教育に関する施設及び団体相互間の連絡及び協力の促進	青少年教育団体相互間の連絡・協力を促進する事業
	青少年教育に関する専門的な調査研究	青少年の体験活動の重要性等、青少年教育に関する調査研究
青少年教育団体が行う活動に対する助成(基金事業)		青少年教育団体が実施する活動に対して行う助成金の交付並びに附帯事業(「独立行政法人国立青少年教育振興機構に関する省令」(平成13年3月30日文部科学省令第30号)第十五条に基づき区分経理)

3. 「一般管理費」の「法人共通」(863,364,794円)は各セグメントに配賦しなかった費用であり、その主な内容は外部委託費、賃借料、減価償却費、保守・修繕費であり、それぞれ156,161,432円、194,524,441円、144,019,081円、121,987,918円であります。

4. 総資産「その他」の「法人共通」合計(3,409,809,750円)は各セグメントに配賦しなかった資産であり、その主な内容は現金及び預金2,773,828,729円であります。

5. 目的積立金の取り崩しを財源とする費用

事業区分	金額(円)
自立する青少年の育成の推進	-
青少年教育指導者等の養成及び資質の向上	-
青少年教育指導者等研修及び青少年研修に対する指導及び助言	-
青少年教育に関する施設及び団体相互間の連絡及び協力の促進	-
青少年教育に関する専門的な調査研究	-
青少年教育団体が行う活動に対する助成(基金事業)	-
法人共通	62,935
合計	62,935

### 13. 関連公益法人等の状況

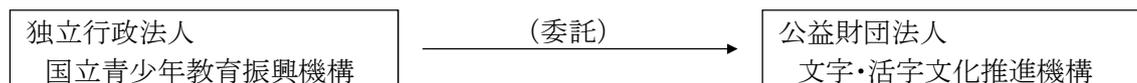
#### (1) 関連公益法人等の概要

法人の名称	当機構との関係	業務の概要
公益財団法人 文字・活字文化推進機構	関連公益法人	「子どもの読書活動の推進に関する法律」と「文字・活字文化振興法」の具現を通じて、読書・新聞閲読のための環境整備や文字・活字文化の振興、言語力(読む・書く・考える・伝える)の向上を図り、地域・学校・企業における講座・研修活動、ワークショップ等を推進するとともに、それに必要な人材育成を進め、もって国民の人間性の涵養とわが国文化の発展、並びに創造的な国づくりに資することを目的とする。

#### (2) 役員の名(令和3年3月31日現在)

法人の名称	役員の名
公益財団法人 文字・活字文化推進機構	理事長 肥田 美代子 副理事長 山口 寿一、相賀 昌宏 専務理事 渡辺 鋭氣 理事 足立 直樹、石井 直、一力 雅彦、伊藤 雅俊、岡田 直敏、 小川 恒弘、北島 義俊、平林 彰、藤森 康彰、堀 憲郎、 堀内 丸恵、丸山 昌弘、矢幡 秀治、山本 信夫、渡辺 雅隆 監事 北村 哲男、能勢 正幸

#### (3) 当機構との取引の関連図



#### (4) 関連公益法人等の財務状況

##### ① 貸借対照表(令和3年3月31日現在) (単位:円)

法人の名称	科目	金額
公益財団法人 文字・活字文化推進機構	資産	168,250,360
	負債	7,765,863
	正味財産	160,484,497

##### ② 正味財産増減計算書(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

別紙に記載

##### ③ 収支計算書(令和2年4月1日～令和3年3月31日) (単位:円)

法人の名称	科目	金額
公益財団法人 文字・活字文化推進機構	当期収入合計額	110,132,376
	当期支出合計額	106,885,156
	当期収支差額	3,247,220

#### (5) 関連公益法人等の基本財産等の状況

##### ① 関連公益法人等の基本財産に対する出えん、抛出、寄附等の明細

該当無し

##### ② 関連公益法人等の運営費、事業費等に充てるために当該事業年度において負担した会費、負担金等の明細

該当無し

## (6) 関連公益法人等との取引の状況

## ① 債権債務の明細

(単位:円)

法人の名称	項目	金額
公益財団法人 文字・活字文化推進機構	未払金	28,594,896
	未収金	該当無し

## ② 債務保証の明細

該当無し

## ③ 関連公益法人等の事業収入の金額とこれらのうち当機構の発注等に係る金額及びその割合

(単位:円)

法人の名称	事業収入	左記のうち 当機構の発注高		当機構の発注高の内訳					
				競争入札		企画競争等		競争性のない 随意契約	
		金額	割合 (%)	金額	割合 (%)	金額	割合 (%)	金額	割合 (%)
公益財団法人 文字・活字文化推進機構	75,720,393	59,494,896	78.6%	59,494,896	100%	—	—	—	—

(注) 1. 事業収入は、正味財産増減計算書のうち、事業収益及び受取補助金等の合計額となっております。

(注) 2. 当機構の発注高は、当機構の令和2年度財務諸表に計上されている発注高(費用)を計上しております。

別紙  
正味財産増減計算書(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

(単位:円)

法人の名称	一般正味財産増減の部						指定正味財産増減の部															
	収益	収益の内訳		費用	費用の内訳			収益	収益の内訳		費用等	当期増減額	指定正味財産 期首残高	指定正味財産 期末残高	正味財産 期末残高							
		A	受取 補助金等		その他の 収益	B	事業費		管理費	その他の 費用						F	受取 補助金等	その他の 収益	G	H=F-G	J=H+I	K=E+J
			75,513,065		31,694,311												103,960,156	45,247,720				
107,207,376	75,513,065	31,694,311	103,960,156	45,247,720	58,712,436	—	C=A-B	D	E=C+D	F	G	H=F-G	I	J=H+I	K=E+J							
公益財団法人 文字・活字文化推進機構	107,207,376	75,513,065	31,694,311	103,960,156	45,247,720	58,712,436	—	3,247,220	57,237,277	60,484,497	—	—	—	100,000,000	100,000,000	160,484,497						



## 1. 重要な会計方針

### 1. 運営費交付金収益の計上基準

収益化単位の業務及び退職一時金については業務達成基準を採用しております。  
管理部門の活動については、期間進行基準を採用しております。

### 2. 基金運用益の計上基準

基金運用益は、中期計画及びこれを具体化する年度計画等において、業務のための支出額を限度として収益化しております。基金運用利益金負債勘定は、子どもゆめ基金の資金運用先である有価証券に係る有価証券利息のうち、収益化未済の金額が記載されております。

### 3. 固定資産の減価償却の方法

#### (1) 有形固定資産（リース資産を除く）

定額法を採用しております。  
主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物	2年～64年
構築物	2年～60年
機械及び装置	2年～18年
船舶	2年～13年
車両運搬具	2年～7年
工具器具備品	2年～16年

なお、耐用年数については、主として法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。

また、特定の償却資産（独立行政法人会計基準第87第1項）に係る減価償却に相当する額については、減価償却相当累計額として資本剰余金を減額しております。

#### (2) 無形固定資産（リース資産を除く）

定額法を採用しております。

なお、法人内利用のソフトウェアについては、法人内における利用可能期間（5年）に基づいております。

#### (3) リース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

### 4. 賞与引当金の計上基準

役職員の賞与の支給に備えるため、賞与支給見込額のうち、当事業年度に負担すべき金額を計上しております。なお、役職員の賞与については、運営費交付金により財源措置がなされる見込みであるため、賞与引当金と同額を賞与引当金見返として計上しております。

### 5. 退職給付に係る引当金の計上基準並びに退職給付費用の処理方法

退職一時金については、期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を用いた簡便法を適用しております。このうち、運営費交付金により財源措置がなされる見込みである退職一時金については、退職給付引当金と同額を退職給付引当金見返として計上しております。

6. 環境対策引当金の計上基準

PCB（ポリ塩化ビフェニル）の処分等に関する支出に備えるため、今後発生すると見込まれる金額を計上しております。なお、運営費交付金により財源措置がなされる見込みであるため、環境対策引当金と同額を環境対策引当金見返として計上しております。

7. 貸倒引当金の計上基準

債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に債権の回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

8. 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的債券

償却原価法（定額法）

9. たな卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品の評価基準及び評価方法は、最終仕入原価法による低価法を採用しております。

10. キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

キャッシュ・フロー計算書における資金は、手元現金及び要求払預金からなっております。

11. 消費税等の会計処理方法

税込方式によっております。

## II. 金融商品の時価等の開示に関する注記

### 1. 金融商品の状況に関する事項

当法人の資金運用については、「独立行政法人通則法」第47条に規定された金融商品に限定し、主として「独立行政法人国立青少年教育振興機構法」第13条に定められた基金の運用を行っております。現在保有している有価証券は国債及び地方債のみであり、株式等は保有しておりません。

### 2. 金融商品の時価等に関する事項

期末日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	貸借対照表 計上額	時価	差額
(1) 現金及び預金	3,580	3,580	—
(2) 有価証券及び投資有価証券	1,669	1,653	▲16
満期保有目的の債券	1,669	1,653	▲16
(3) 長期性預金	3,274	3,234	▲40
(4) 未払金	(1,815)	(1,815)	—

(注1) 負債に計上されているものは、( )で示しております。

(注2) 金融商品の時価の算定方法並びに有価証券等に関する事項

#### (1) 現金及び預金

現金及び預金は短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

#### (2) 有価証券及び投資有価証券

取引金融機関から提示された価格によっております。

#### (3) 長期性預金（コーラブル預金）

取引金融機関から提示された価格によっております。

#### (4) 未払金

未払金は短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

## III. 賃貸等不動産の時価等の開示に関する注記

賃貸等不動産の総額に重要性が乏しいため、注記を省略しております。

## IV. 退職給付に係る注記

### 1. 当法人は、職員の退職給付に充てるため、非積立型の退職一時金制度及び国家公務員共済組合法の退職等年金給付制度を採用しております。

非積立型の退職一時金制度では、給与と勤務時間に基づいた一時金を支給しており、簡便法により退職給付引当金及び退職給付費用を計算しております。

## 2. 確定給付制度

### (1) 簡便法を適用した制度の、退職給付引当金の期首残高と期末残高の調整表

期首における退職給付引当金	785,436,415 円
退職給付費用	146,031,957 円
退職給付の支払額	△193,841,803 円
期末における退職給付引当金	737,626,569 円

### (2) 退職給付に係る損益

簡便法で計算した退職給付費用 146,031,957 円

## 3. 退職等年金給付制度

当法人の退職等年金給付制度への要拠出額は、23,556,239 円であります。

## V. 重要な後発事象

該当事項はありません。

## VI. 貸借対照表に計上していない資産除去債務の概要

当法人では、土地賃貸借契約を締結しており、契約終了時に原状回復義務を有しておりますが、現時点では、履行時期の予測及び除去費用の負担額の合理的な見積りが困難であるため、資産除去債務を計上しておりません。

## VII. 追加情報

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、文部科学省からの「主催事業の中止及び団体の受入れの停止について」(令和2年3月21日 事務連絡)の要請や全国各地への「緊急事態宣言」の発令、その他各教育施設の所在する都道府県等からの要請等により、令和2年度は、全教育施設において対前年度比575日増の延2,136日(うち、新型コロナウイルス感染症等の影響によるものは延1,540日)間の休館を行っております。

なお、通常時は、施設整備日及び年末年始に係る休館が、最大で延840日間発生いたします。